

タイトル：離れていても出来ることがある！頑張らなくてもいいんだよ！

エピソード要約

離れていても出来ることは沢山ある！

離れているからこそ、新しく知って頂くことも沢山ある！

頑張らなくてもいいんだよ！自然とわかってくれる人は、気づけば周りにいるから！

エピソード

会社員をしていた私は、3年前、会社で倒れ、重い病院の扉を開き、検査に行った。

重度の更年期障害がずっと続いていたが、そうではなく難病指定の病気で「原発性胆汁性胆管炎」という病気を発症していました。

その後、次々と治療方法のない病気が見つかり、療養のため退職し、復職に向けて頑張っていたが、叶わず退職しました。

その時、先生から言われた言葉が「頑張らなくてもいいんだよ！そのままです」でした。

少し肩の荷が下りた気分になりました。

治さなきゃ、働かなきゃと焦っていた私を主治医の先生は見抜いていました。

入院して手術後にも、先生は頑張らなくてもいいよ。と声を掛けて下さいました。

自分の死という事を真剣に考える様にもなりました。

無理さえしなければ、薬で抑えられていれば、まだ生きていられる。

でもいつ急変してもおかしくないし、急変したら移植しか助かる道はない。

私は移植という道は選んでいない。

限られているかもしれない時間なら、やってみたい事をやりたいと思いはじめました。

主人にも相談し、やってみればいいよと言ってもらえた。

先生に私は相談し、主人の店の使っていない時間にカフェをやりたいと。

お勤めに出ると、他の方にご迷惑をお掛けするかもしてないけど、自分でやっていれば、自分の体調と相談しながらでも、少しはやっていけるのではないかと考えたからです。

それに、喫茶店のような事をやりたいというのが夢だったから。

先生も無理なく、辛い時にはお休みし、月間で週休3日になるならと応援して下さいました。

私は、東日本大震災で被災された宮城県東松島市のごく一部の方々ではあるが、ご縁を頂き、毎月のように通っていた。

そこで、離れていても出来ることはあるのではないかと考え、循環型応援カフェをやろうと決めて、まずは東松島市へ行き、商談して、珈琲豆やスイーツなど東松島市から仕入れることにした。

物販も少しではあるが、東松島市の方々が震災後仕事とされた手仕事のものを仕入れ、販売するという形をとっている。

私が千葉県で販売し、また宮城県東松島市に発注し、宮城県東松島市を知って頂く循環型のカフェを実現した。

そんな私のカフェの事を知った東松島のコミュニティラジオの方から、取材申込みもあり、電話で出演させて頂きました。

その後、東松島で聞いていらっしゃったリスナーのお子さまが松戸にいらっしゃり、訪ねて来て下さったりしました。そこでも素敵なお縁が出来ました。

東松島市で応援しているのは、主に「ソックモンキーおのくん」「東松島ステッチガールズ」「清水畳店」さんのグッズや、スイーツはアグリードなるせさま、お菓子の国パンジーさまのものを、蜂蜜は石巻二ホンミツバチの会の方から納品して頂いています。

また、ハンディキャップのある方が作られているぎんの星という珈琲豆も使わせて頂いている。

ハンディキャップのある方の作る、京都ハンドメイド雑貨かいらしさんの商品もおいている。

病気になって、中々直接伺うことは出来なくても、無理に頑張らずに応援していくことは可能だとわかり、今は豪雨被害にあった福岡県朝倉市の玄米パフなども仕入れて、お客さまに好評で色々なつながりが出来た。

何か月に一度、買って応援イベントなども開催していますが、最初にやろうとした時に東松島のボランティア仲間から連絡が入り、フルートの生演奏をしてくれた。

周囲はちゃんと見てくれたんだと本当に嬉しかったです。

宮城県東松島市を本拠地とするブルーインパルスのファンの方からも、ご連絡を頂き、ブルーインパルスのDVDをプレゼントして頂いたり、お店に遠くから足を運んで下さったり

と、自分が信念を持ち、肩ひじ張らずに力を抜いてやっていれば、見ていてくれる人は応援してくれる。そして自分もまた応援できる！

KEEP SMILE で少しでも長く、この循環型応援カフェを継続して、離れていても応援出来るし、応援してもらえるとこの事をたくさんの方々に知って頂けたら嬉しいです！

「離れていても出来ることはある！頑張らなくてもいいんだよ！」

昨今、自然災害が相次いで起こっていますが、現地に行かなければ分からないことももちろんあります。

でも、私のように行きたくても行けない方も大勢いらっしゃると思います。

その時は思い出してほしいです。

「離れていても出来ることはある！頑張らなくてもいいんだよ！という事を！」

私はこれからも、宮城県東松島市を基本としながらも、何かご縁があれば、応援出来ることはしていただける、そんなカフェ運営を継続していきたいと思っています。